

二〇二二年度 入学試験問題

国 語

第三回

【注 意】

- ・ 試験時間は五〇分です。（八時五〇分～九時四〇分）
- ・ 問題は一ページから七ページまでです。
- ・ 解答はすべて解答用紙の解答らんに入入してください。
- ・ 字数制限のない問題について、一行分の解答らんに二行以上解答してはいけません。
- ・ 記号・句読点がある場合は字数に含みます。
- ・ 解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。



洗足学園中学校

1 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

95

90

85

80

75

70

65

115

110

105

100

問一

——(1)「さまざまなゲーム」の話は何を説明するためのものでしょうか。次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ゲームの世界は仮構の現実であることから、質量ともに圧倒的な日常生活世界の一部であるといえること。

イ 仮構の現実であるゲームは人々に日常を忘れさせ、一時的に夢中にさせる力をもっているが、最終的に帰還するのは安定した日常生活世界であるということ。

ウ 仮構の現実であるゲームは、若者だけでなく、多くの年代の人も夢中になりやすく、現実と仮構を混同させてしまうことが多いので、日常的に注意を払う必要があるということ。

エ 筆者がゲームに夢中になった時期があるように、仮構の現実はある段階のありふれた日常生活世界よりも多様で優れた世界が表現されているということ。

問二

——(2)「相手が用意してきたことをすべて話し終えたのを確かめ、さらに問いかける」とありますが、筆者はその理由をどのように考えていますか。解答らんに三行以内で説明しなさい。

問三

——(3)「しんどい」とありますが、その理由についてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 日常生活には、「今、ここ」での他者との出会いや新たな関係性や意味を創発する可能性があるが、大勢の他者に対してそれを行うのは無理があるから。

イ 日常生活には、「今、ここ」での他者との出会いや新たな関係性や意味を創発する可能性があるが、生身の他者と出会う日常生活は「至高」ではないから。

ウ 日常生活には、常に新たな関係性や意味をつくりあげる可能性があるがあるので、「決まりきった」「あたりまえ」という言葉に象徴されるように生きることが大切だから。

エ 日常生活には、常に新たな関係性や意味をつくりあげる可能性があるがあるので、「至高」がもつ今一つ重要な意味を無視してしまうことになるから。

問四

——(4)「あたりまえ」とありますが、あたりまえに日常を暮らすために私たちがしていることはどのようなことですか。——(4)より後の部分を用いて解答らんに三行以内で説明しなさい。

問五

——(5)「こうした日常的な他者認識を『類型的』な理解と呼んでいます。」とありますが、これはどのように認識することですか。解答らんに三十文字以内で説明しなさい。

問六

□ A □ D に当てはまる語を、次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし、記号はそれぞれ一回ずつ使用しなさい。)

ア つまり イ しかし ウ たとえば エ では

問七

——(ア)～(オ)のカタカナを漢字に書き直しなさい。

問八

本文の内容に当てはまるものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 質量ともに圧倒的な現実である日常生活世界は、ユニークな世界であるがゆえに普通の雑事を忘れさせるだけの力を持っていることから「至高の現実」と呼ばれている。

イ 私たちが普段どこを拠りどころとして生きているのかを考える際には、質量ともに圧倒的な現実であり、多様なあたりまえに焦点をあてている日常生活に目を向けていくことが大切である。

ウ 大勢の見知らぬ他者に出会い、暮らしているだけの知恵や習慣が無数に存在していることが日常生活世界の重要な点であり、それが日常生生活世界が「至高」と呼ばれる最大の理由である。

エ 私たちが生きているうえで拠りどころとしている日常生活世界は、私たちが多様で異質な現実と向き合って生き、他者との出会いを得るための、重要な拠点となっている。

2 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

95

90

85

80

75

70

65

130

125

120

115

110

105

100

問一

——(1)「千波と澄香はいつも連れだつて歩いているようになった。」とありますが、このことが招いた環境の変化に対して、千波はどのように感じていますか。ふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 澄香と親友になったことよつて千波を見る周囲の目が変化したことに対して、千波は自分自身が変わつたことを確信し、清々しさと緊張を感じている。

イ 澄香が仲良くしてくれることで千波の交友関係が広がり、周囲からの注目を得られるようになったことに対して、自分が主役になつたような高揚感と気まずさを感じている。

ウ 澄香が仲良くしてくれることで自然と千波の周囲に人が集まるようになり、クラスで目立つ存在となつたことに対して、気恥ずかしさと居心地の悪さを感じている。

エ 澄香と親友になつたことよつて舞台のメインキャストのようにクラスの中に居場所が与えられたことに対して、晴れがましさを感じつつも劣等感を抱いている。

問二

——(2)「間違つたこと」とありますが、それはどのような内容ですか。ふさわしくないものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 親友であるはずの千波が自分の委員決めのことに気を取られて、澄香をクラス委員に推薦しなかつたこと。

イ 澄香がクラス委員から落ちてしまつたことに対して、上手く励ましの言葉をかけてあげられなかつたこと。

ウ 親友であるはずの千波がクラスメイトに声をかけて、澄香がクラス委員になれるように取り計らつてあげられなかつたこと。

エ 澄香がクラス委員から落ちてしまつた状況で、自分が立候補した図書委員に決まつたこと。

問三

——(3)「今回だけは、自らすすんで図書委員に立候補しよう」とありますが、千波が中学校で図書委員の仕事をする最後の期間である三年前期の委員決めで立候補しようと思つたのはなぜですか。解答らんに三行以内で説明しなさい。

問四

——(4)「上の空」とありますが、空模様に関する次の一から五の成句の意味を、後の「意味」ア～オの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- 一 青天のへきれき
- 二 雨降つて地固まる
- 三 花に嵐あらし
- 四 雲をつかむよう
- 五 風雲の志

〔意味〕

- ア 思いもよらない、とつぜんの出来事や事件。
イ ばくぜんとしていることのとえ。
ウ 悪いことや嫌いやなことの後に、かえってよい状態になること。
エ よいことには、じやまが入りやすいことのとえ。
オ 何か変わったことが起こりそうな事態を利用して、大きなことをしようとする。

問五

——(5)「頭にカーッと血が上った。」とありますが、この時の千波の様子を解答らんに一行以内で説明しなさい。

問六

——(6)「心の中はすつきりと晴れなかった。」とありますが、それはなぜですか。解答らんに五十字以内で説明しなさい。

問七

——(7)「A」～「D」に当てはまる語を次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし記号は一回ずつ使用します。)

- ア 真まつ先に
イ おおずおおずと
ウ 間かん髪ぱついれずに
エ ここっそそり

問八

本文に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 千波は気弱かつ卑屈ひくつな性格で、誰かの陰かげに隠かくれながら事が終わるのをこっそりと待ち、後でそれを嘆なげいてしまうようなところがある。

イ 千波は賢かしこく優柔ゆうじゆう不断ふだんな性格で、あらゆる可能性を考慮こうりよするあまり迷ってばかりいて、自分なりの意思を持っていないところがある。

ウ 千波は思慮しりよぶ深く責任感のある性格で、常に自分がすべきことや正しいと思うことは何か考え、信念をもって行動にうつすところがある。

エ 千波は控ひかえめかつ真面目まじめな性格で、争いを避けることと責任を果たすことの間で揺れ動き、かえって決断に悩なやむようなところがある。

